

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
トリミング実習(I)		イオンペットトリマーコース／2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	450回	900単位時間	必須	菊田 大誠

授業の概要

イオンペット社員トリマースタッフとして即戦力となるグルーミング、カット技術を習得する。

授業終了時の到達目標

安全ルールを遵守したグルーミング、カットの習得
イオンペットが定めるトイードルディベアカットの習得
定められた時間内にトリミングを終わらせるタイムスケジュールの組み立て方の学習
ランクスキル認定試験を合格できる技術の習得

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとして、3年間勤務

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること

週	テーマ	内容
1～3	S-Groomingを再現する為の基礎	座学で行ったS-Groomingとはを基本姿勢として身に付けるために扱う犬の状態を観察しながらベーシック、カットを行う。ライセンス試験合格の為ベーシック45分カット75分を現在のタイムを計り見比べながら作業時間が短縮出来る箇所を見つける。
4～6	テーブル上での犬の扱い方、肢の上げ方骨格の理解	座学で行ったテーブル上での犬の扱い方を再確認しながら行う。犬の骨格を常に意識し、テーブルに置く、下ろす作業をS-Groomingを確認しながら行う。嫌がる場合の対処方法を学習し、どんな状態でも無理のない姿勢で行う事が出来るようにする。
7～9	シャワーガンでの洗浄方法	座学で行ったシャワーガンの使用方法を確認し、作業を行う。洗浄のメカニズムを理解し、犬にあったシャンプーの方法を確認する。正しい道具の使用方法を行う事により、効率化に努める。
10～12	ブローとドライの違い	ブローをする上で重要な毛の乾くメカニズムを実践し、学習する。ブローとドライの目的の違いを理解し、道具の扱い方を目的別に行う事で効率化に努める。
13～15	耳チェック、爪切り、グラインダー、肛門線絞り、足裏バリカン	座学で行ったS-Groomingの新しい道具を使用し、1年次とは違うやり方で行えるように復習を行う。犬の保定方法や使用道具も初めて使う物なので、慣れるように力加減、保定方法を確認しながら犬へ負担の少ない作業になるように注意する。

週	テーマ	内容		
16	模擬試験	ランク模擬試験を行い、自身の苦手とする点や、改善が可能な点を把握する。現在タイムと合格タイムとの差を明確に理解し、次回以降のタイマーの使用方法を見直し時間短縮に努める。		
17～ 18	足先バリカン、腹バリカン	S-Groomingで変わった足先のバリカンのかけ方を通常の物と比較をして何が違うか理解が出来るように実践する。理解をすることでお客様に対して説明が出来るようにする。		
19～ 20	アタッチメントコームの使用確認	アタッチメントコームを使用したトリミングをラインやミリ数を再確認し、効率的に作業を行う事が出来るようにする。アタッチメントコームの正しいかけ方も理解をし、刈り残しがなく、安全にかけられる事が出来るようにする。		
21	模擬試験	前回の模擬試験から学んだ苦手箇所を克服できているか確認をしながら模擬試験を行う。前回より細かい仕上げの箇所を注意して行い最終試験に向けて時間短縮に努める。		
22～ 23	カットマニュアル、試験評価基準の確認	模擬試験を踏まえて顔カットを中心にマニュアルの復習、及び審査基準の確認方法を再度理解し、本試験に取り組む準備を行う。		
24～ 26	他犬種のカットマニュアルの確認	トイプードル以外の犬種に関してブロー、カットを再確認し、どんな犬種でも決められた基準以内に仕上げる事が出来るようにする。		
27	カットランク認定試験本試験	評価表を基準とし、本試験を行う。		
28～ 30	マニュアル外のカット、犬種	マニュアルとしてない犬種のカット及び顔カットを理解する。全体のバランスを見る事、体の動かし方などより効率的に、入社後にカットランクをさらに上げる事が出来るように決められた時間以内に終了し、全体のバランスを整える時間を作る事が出来るようにする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
イオンペットカットマニュアル (S-Grooming/SZ・マルチーズ/シュナウザー) (イオンペット株式会社)		期末試験 (実技)	100.0%	各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習		ペットサロントリマーコース/2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	450回	900単位時間	必須	萬澤 恵理

授業の概要

1年次のグルーミング理論Ⅰ、グルーミング実習で学んだコンパニオンアニマルをケアする際の専門器具の名称、使用方法、選定方法や犬の健康管理に加え多様化する犬種の保定方法や健康ケアの方法を学修する。また犬の持つ多様な行動パターンに対しての応用力を習得するため、保定やカットが多少困難な性質を持つ犬も使用し犬のライフステージ、飼育環境、飼育目的にあったカットの方法を学修する。また犬種によって様々なカットの方法、現在のカットのトレンドをも学修する。

授業終了時の到達目標

- ・犬種や犬のライフステージごとに持つ様々な皮膚や被毛の種類への対応ができる
- ・ペットショップや動物病院にて飼い主様の求めるケア内容に対応できる技術の習得をする

実務経験有無

実務経験内容

有

トリマーとしてペットサロンに勤務（現在に至る）

時間外に必要な学修

自宅でのシザーリング練習、絵を描く、教科書を熟読する

週	テーマ	内容
1	・1年次の復習①	犬の扱い方、道具の扱い方、グルーミング（爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業）などの復習を行いながら正確に作業を進めることを説明する。また安全確認の為2人で1頭を仕上げる。
2	・実技試験①（個人の課題を見つける）	グルーミング（爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業）の確認テストをおこなう。採点表から個人の課題を発見しカウンセリングを行い個別の目標を持たせる。
3-5	・ケネル&ラムクリップ① クリッパーワークの基準となるライン、クリッパーのかけ方、フットラインを理解する。	ペットエステティックとはどんなものか、施術することでどんなメリットが生まれるのかを学修する
	・他犬種① サマーカットのボディのクリッピングライン、方法などを理解する。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーのかけ方に焦点を絞り教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。
6	・ケネル&ラムクリップ② 後躯のカットの手順とカット方法、正しい形を理解する。	プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。前週のクリッパーワークに続き、体躯構成別に違って来る後躯のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。
	・他犬種② 後躯のカットの手順とカット方法、正しい形を理解する。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワークに続いて教材犬（モデル犬）それぞれの後躯のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。

	<p>・ケネル&ラムクリップ③ 中駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆に続いてこの週では体躯構成別に違ってくる中駆のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明を行い実習する。またクリッパーワークや後駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
7-8	<p>・他犬種③ 中駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの中駆のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
	<p>・ケネル&ラムクリップ④ 基礎の大切を再確認</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使いカットを行う前のシャンプーとブローの重要性、健康な被毛を維持することの大切さを改めて説明する。 1頭ごとのグルーミング作業のチェックし評価する</p>
9	<p>・ケネル&ラムクリップ⑤ 前駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆、中駆に続いてこの週では体躯構成別に違う前駆のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習する。またクリッパーワーク、後駆、中駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
	<p>・他犬種④ 前駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆、中駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの前駆のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆、中駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
10	<p>・ケネル&ラムクリップ⑥ 頭部、ネック、テイル、耳のカットの 手順とカットの方法、正しい形を理解 する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆、中駆、前駆に続いてこの週では体躯構成別に違う頭部、ネック、テイル、耳のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習する。またクリッパーワーク、後駆、中駆、前駆の作り方の復習もあわせて行う（ケネル&ラムクリップが一通り完成できるようにしている）</p>
	<p>・他犬種の頭部⑤ ネック、テイル、耳のカットの手順と カットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆、中駆、前駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの前駆のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆、中駆、前駆の作り方の復習もあわせて行う（様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく）</p>
11	<p>・ケネル&ラムクリップ⑦ プードルのスタンダードに近づけるた めのバランスのととり方、カットの手 順を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違ってくる前駆、中駆、後駆のバランスのととり方を説明し正しい全体の形（アウトライン）を理解するとともにその個体の完成した形の作り方を説明する</p>
	<p>・他犬種⑥ 120分～180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明し所定の時間で終われるよう時間を計り苦手作業の時間を短縮する方法を説明する。 （様々な犬種に対しても苦手犬種や苦手箇所についても反復して学修していく）</p>

12	<p>・ケネル&ラムクリップ⑧ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験に向けて180分での仕上げを目指す。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違っている完成した形を時間を計り所定の時間で終え個々人の課題を説明する。 チェック表を使い個々人の目標を作成する</p>
	<p>・他犬種⑦ 120分～180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
13	<p>・ケネル&ラムクリップ⑨ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験に向けて120分での仕上げを目指す。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。体躯構成別に違っている完成した形を時間を計りライセンス試験の120分で終え個々人の課題を説明する。チェック表を使い前回までの課題と目標の達成度合いについて説明し次の目標を作成する。</p>
	<p>・他犬種⑧ 120分～180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
14	<p>ケネル&ラムクリップ⑩ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験1か月前の最終カットを行う(120分で完成させる)</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
	<p>・他犬種⑨ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
15	<p>・ケネル&ラムクリップ⑪ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験を意識した。個別の課題克服ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験最終調整</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、個々人が課題とする部分(クリッパーワーク、頭部ネックの表現、アウトラインの出し方)を正確に作れるよう説明する</p>
	<p>・他犬種⑩ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するための説明を行う。また様々な犬種とお客様のオーダー理解できるような接客を受け付け練習にて指導を行う</p>

16	<p>・ケネル&ラムクリップ⑫ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験での課題部分の絞り込みと（社）動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス取得に向けての改善</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、個々人が課題とする部分（クリッパーワーク、頭部ネックの表現、アウトラインの出し方）を正確に作れるよう実習する</p>
	<p>・他犬種⑪ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮をするための説明を行う。また様々な犬種とお客様のオーダー理解できるような接客を受け付け練習にて指導を行う</p>
17-18	<p>・ケネル&ラムクリップ⑬ 120分での仕上げとジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験での課題を意識した仕上がりを目指す</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験の際に学生が感じた個人の課題（クリッパーワークの短縮やボディーや全体の切込み）を理解させ説明し（社）動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス試験の課題を抽出する</p>
	<p>・他犬種⑫ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>
19-20	<p>・ケネル&ラムクリップ⑭ （社）動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンスライセンス最終カット</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違っている完成した形とジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級ライセンスでの課題を意識して時間を計り2時間で完成させる。</p>
21-26	<p>・ケネル&ラムクリップ⑮ （社）日本動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンスを意識した。個別の課題克服、（社）日本動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス最終調整</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、完成形を作れるようになっているラムクリップの細かい部分のカット（フットライン、ポンポン、ボディの面だし）により一層こだわり、時間の短縮とカットの美しさを求めているよう説明する</p>
	<p>・他犬種⑬ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>

27-30	<ul style="list-style-type: none"> ・ケネル&ラムクリップ⑯ 次年度（4月）スタートの為の手入れとケネル&ラムクリップショートにカットを行う。	プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、次の年度までの間、お客様のお手入れがし易いよう、また新2年生が切込み易いようにに体のカットを短く切り込む		
	<ul style="list-style-type: none"> ・他犬種⑮ 120分での仕上げを目指す。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・最新ドックグルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	

※1日4回（8単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習(M)		メディカルトリマーコース /2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	435回	870単位時間	必須	萬澤 恵理

授業の概要

1年次のグルーミング理論Ⅰ、グルーミング実習で学んだコンパニオンアニマルをケアする際の専門器具の名称、使用方法、選定方法や犬の健康管理に加え多様化する犬種の保定方法や健康ケアの方法を学修する。また犬の持つ多様な行動パターンに対しての応用力を習得するため、保定やカットが多少困難な性質を持つ犬も使用し犬のライフステージ、飼育環境、飼養目的にあったカットの方法を学修する。また犬種によって様々なカットの方法、現在のカットのトレンドをも学修する。

授業終了時の到達目標

- ・犬種や犬のライフステージごとに持つ様々な皮膚や被毛の種類への対応ができる
- ・ペットショップや動物病院にて飼い主様の求めるケア内容に対応できる技術の習得をする

実務経験有無

実務経験内容

有

トリマーとしてペットサロンに勤務（現在に至る）

時間外に必要な学修

自宅でのシザーリング練習、絵を描く、教科書を熟読する

週	テーマ	内容
1	・1年次の復習①	犬の扱い方、道具の扱い方、グルーミング(爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業)などの復習を行いながら正確に作業を進めることを説明する。また安全確認の為2人で1頭を仕上げる。
2	・実技試験①(個人の課題を見つける)	グルーミング(爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業)の確認テストをおこなう。採点表から個人の課題を発見しカウンセリングを行い個別の目標を持たせる。
3-5	・ケネル&ラムクリップ① クリッパーワークの基準となるライン、クリッパーのかけ方、フットラインを理解する。	ペットエステティックとはどんなものか、施術することでどんなメリットが生まれるのかを学修する
	・他犬種① サマーカットのボディのクリッピングライン、方法などを理解する。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーのかけ方に焦点を絞り教材犬(モデル犬)ごとに説明し実習を行う。
6	・ケネル&ラムクリップ② 後躯のカットの手順とカット方法、正しい形を理解する。	プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。前週のクリッパーワークに続き、体躯構成別に違って来る後躯のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬(モデル犬)ごとに説明し実習を行う。
	・他犬種② 後躯のカットの手順とカット方法、正しい形を理解する。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワークに続いて教材犬(モデル犬)それぞれの後躯のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬(モデル犬)ごとに説明し実習を行う。

	<p>・ケネル&ラムクリップ③ 中駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆に続いてこの週では体躯構成別に違ってくる中駆のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明を行い実習する。またクリッパーワークや後駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
7-8	<p>・他犬種③ 中駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの中駆のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
	<p>・ケネル&ラムクリップ④ 基礎の大切を再確認</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使いカットを行う前のシャンプーとブローの重要性、健康な被毛を維持することの大切さを改めて説明する。 1頭ごとのグルーミング作業のチェックし評価する</p>
9	<p>・ケネル&ラムクリップ⑤ 前駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆、中駆に続いてこの週では体躯構成別に違う前駆のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習する。またクリッパーワーク、後駆、中駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
	<p>・他犬種④ 前駆のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆、中駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれの前駆のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆、中駆の作り方の復習もあわせて行う。</p>
10	<p>・ケネル&ラムクリップ⑥ 頭部、ネック、テイル、耳のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。クリッパーワーク、後駆、中駆、前駆に続いてこの週では体躯構成別に違う頭部、ネック、テイル、耳のカットの手順と正しい形に焦点を絞る。教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習する。またクリッパーワーク、後駆、中駆、前駆の作り方の復習もあわせて行う（ケネル&ラムクリップが一通り完成できるようにしている）</p>
	<p>・他犬種の頭部⑤ ネック、テイル、耳のカットの手順とカットの方法、正しい形を理解する。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うクリッパーワーク、後駆、中駆、前駆の作り方に続いて教材犬（モデル犬）それぞれに頭部、ネック、テイル、耳のカットに焦点を絞って手順やオーダー別の正しい形を教材犬（モデル犬）ごとに説明し実習を行う。またクリッパーワークや後駆、中駆、前駆の作り方の復習もあわせて行う（様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく）</p>
11	<p>・ケネル&ラムクリップ⑦ プードルのスタンダードに近づけるためのバランスのととり方、カットの手順を理解する。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違ってくる前駆、中駆、後駆のバランスのととり方を説明し正しい全体の形（アウトライン）を理解するとともにその個体の完成した形の作り方を説明する</p>
	<p>・他犬種⑥ 120分～180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明し所定の時間で終われるよう時間を計り苦手作業の時間を短縮する方法を説明する。 （様々な犬種に対しても苦手犬種や苦手箇所についても反復して学修していく）</p>

12	<p>・ケネル&ラムクリップ⑧ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験に向けて180分での仕上げを目指す。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違っている完成した形を時間を計り所定の時間で終え個々人の課題を説明する。 チェック表を使い個々人の目標を作成する</p>
	<p>・他犬種⑦ 120分～180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
13	<p>・ケネル&ラムクリップ⑨ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験に向けて120分での仕上げを目指す。</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使う。体躯構成別に違っている完成した形を時間を計りライセンス試験の120分で終え個々人の課題を説明する。チェック表を使い前回までの課題と目標の達成度合いについて説明し次の目標を作成する。</p>
	<p>・他犬種⑧ 120分～180分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
14	<p>ケネル&ラムクリップ⑩ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験1か月前の最終カットを行う(120分で完成させる)</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
	<p>・他犬種⑨ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計ることと個体によって違う行動パターンを理解して最適な保定方法を説明する。(様々な犬種に対しても苦手犬種の苦手箇所についても反復して学修していく)</p>
15	<p>・ケネル&ラムクリップ⑪ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験を意識した。個別の課題克服ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験最終調整</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、個々人が課題とする部分(クリッパーワーク、頭部ネックの表現、アウトラインの出し方)を正確に作れるよう説明する</p>
	<p>・他犬種⑩ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するための説明を行う。また様々な犬種とお客様のオーダー理解できるような接客を受け付け練習にて指導を行う</p>

16	<p>・ケネル&ラムクリップ⑫ ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験での課題部分の絞り込みと（社）動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス取得に向けての改善</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、個々人が課題とする部分（クリッパーワーク、頭部ネックの表現、アウトラインの出し方）を正確に作れるよう実習する</p>
	<p>・他犬種⑪ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮をするための説明を行う。また様々な犬種とお客様のオーダー理解できるような接客を受け付け練習にて指導を行う</p>
17-18	<p>・ケネル&ラムクリップ⑬ 120分での仕上げとジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験での課題を意識した仕上がりを目指す</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、ジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級試験の際に学生が感じた個人の課題（クリッパーワークの短縮やボディーや全体の切込み）を理解させ説明し（社）動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス試験の課題を抽出する</p>
	<p>・他犬種⑫ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>
19-20	<p>・ケネル&ラムクリップ⑭ （社）動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンスライセンス最終カット</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い体躯構成別に違っている完成した形とジャパンケネルクラブ公認トリマーライセンスC級ライセンスでの課題を意識して時間を計り2時間で完成させる。</p>
21-26	<p>・ケネル&ラムクリップ⑮ （社）日本動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンスを意識した。個別の課題克服、（社）日本動物専門学校協会認定トリマー1級ライセンス最終調整</p>	<p>プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、完成形を作れるようになっているラムクリップの細かい部分のカット（フットライン、ポンポン、ボディの面だし）により一層こだわり、時間の短縮とカットの美しさを求めているよう説明する</p>
	<p>・他犬種⑬ 120分での仕上げを目指す。</p>	<p>その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する</p>

27-30	<ul style="list-style-type: none"> ・ケネル&ラムクリップ⑯ 次年度（4月）スタートの為の手入れとケネル&ラムクリップショートにカットを行う。	プードルのケネル&ラムクリップを実習犬に複数頭使い、次の年度までの間、お客様のお手入れがし易いよう、また新2年生が切込み易いようにに体のカットを短く切り込む		
	<ul style="list-style-type: none"> ・他犬種⑮ 120分での仕上げを目指す。	その他、様々な犬種に対しての犬種ごとやライフステージによって違うカット方法を説明する。また所定の時間で終われるよう時間を計って意識し個体によって違う行動パターンを理解し最適な保定おこないトリミングにおける時間を短縮するとともにお客様のオーダーにより近いカットに近づけるようモデル犬返却においてもお客様との接客やコミュニケーションの取り方を説明指導する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・最新ドックグルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	

※1日4回（8単位時間）

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習		ペット総合コース/2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	120回	240単位時間	必須	長尾 麻紀子

授業の概要

1年次のグルーミング理論Ⅰ、グルーミング実習で学んだコンパニオンアニマルをケアする際の専門器具の名称、使用方法、選定方法や犬の健康管理に加え多様化する犬種の保定方法や健康ケアの方法を学修する。また犬の持つ多様な行動パターンに対しての応用力を習得するため、保定やカットが多少困難な性質を持つ犬も使用し犬のライフステージ、飼育環境、飼養目的にあったカットの方法を学修する。

授業終了時の到達目標

- ・犬種や犬のライフステージごとに持つ様々な皮膚や被毛の種類への対応ができる
- ・ペットショップなど飼い主様の求めるケア内容に対応できるグルーミング技術の習得をする

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとしてペットサロンに勤務（現在に至る）

時間外に必要な学修

犬種の特性などの自主学習

週	テーマ	内容
1-2	1年次の復習①	犬の扱い方、道具の扱い方、グルーミング（爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業）などの復習を行いながら正確に作業を進めることを説明する。また安全確認の為2人で1頭を仕上げる。
3	実技試験①（個人の課題を見つける）	グルーミング（爪切り、耳掃除、足裏、肛門、お腹のバリカン掛けやブラッシング作業とシャンプーとブロー作業）の確認テストをおこなう。採点表から個人の課題を発見しカウンセリングを行い個別の目標を持たせる。
4-6	グルーミング犬種のグルーミング①	ダックスやパピヨンなどのグルーミング犬種を90分以内に仕上げる。
7-9	グルーミング犬種のグルーミング②	ポメラニアンなどの毛量の多い犬種のグルーミングを90分以内に仕上げる。
10-12	グルーミング犬種のグルーミング③	マルチーズ、ヨークシャーテリア、シーズーなどのグルーミングを90分以内に仕上げる。
13-15	トリミング犬種のグルーミング①	トイ・プードルのグルーミングを90分以内に仕上げる。

16-17	中型犬、大型犬のグルーミング	中型犬、大型犬のグルーミングを行い、小型犬との違いを理解する。また、保定の仕方や、扱い方を習得する。安全確認のため、2名以上で行う。		
18-19	グルーミング犬種のグルーミング④	ダックスやパピヨン、ポメラニアンなどのグルーミング犬種を70分以内に仕上げる。		
20-21	グルーミング犬種のグルーミング⑤	マルチーズ、ヨークシャーテリア、シーズーなどのグルーミングを70分以内に仕上げる。		
22-23	トリミング犬種のグルーミング②	トイ・プードルのグルーミングを70分以内に仕上げる。		
24-25	グルーミング犬種の部分カット	ダックスやパピヨン、ポメラニアンなどのグルーミング犬種のお尻、飾り毛、胸、お腹などの部分カットを習得する。		
26-27	グルーミング犬種の全身カット	ダックスやパピヨン、ポメラニアンなどのグルーミング犬種の全身のカットを習得する。		
28-30	顔カット	マルチーズ、ヨークシャーテリア、シーズー、トイプードルなどのお顔のカットを理解する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・グルーミングの基礎 ・最新ドッググルーミングマニュアル 		期末試験	100.0%	

(8単位時間)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペットエステ		イオンペットトリマーコース・ペットサロントリマーコース・メディカルトリマーコース・ペット総合コース/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	角戸 瑞季

授業の概要

飼い主様とペットのためにペットエステを施術することの必要性やメリットを学び、ペットエステとはどんなものか飼い主様に伝えられるようにする。
 エステティックの視点から、皮膚・被毛にとって正しい製品を選択するために1年時に学習した皮膚や被毛の構造、シャンプー・コンディショナーの目的などを復習する。
 その他、多くのトリミングサロンで施術されているペットエステティックや使用する製品の使用方法、注意事項なども合わせて学ぶ。

授業終了時の到達目標

- ・トリミング+αになるように、メニューの知識、施術方法を説明できるようになる
- ・使用する製品を理解し、飼い主様に説明できるようになる

実務経験有無

実務経験内容

有

ペットショップでトリマーとして勤務（現在に至る）

時間外に必要な学修

授業の前後に予習復習をして、授業の習熟を図ること

回	テーマ	内容
1	ペットエステとは	ペットエステティックとはどんなものか、施術することでどんなメリットが生まれるのかを学修する
2	皮膚・被毛の構造、役割	シャンプー理論を学ぶ上で皮膚・被毛の構造、役割を知ることが大切なので、1年生の時の復習する
3	シャンプー理論①	ペットにとって適正なシャンプーやコンディショナーを選ぶために、シャンプーの目的（1年次の復習）、人間用との違い、良いシャンプーとは、汚れの成分、シャンプーをしすぎると起こる弊害についてを学修する
4	シャンプー理論② コンディショナー理論	前回の続き。ペットにとって適正なシャンプーやコンディショナーを選ぶために、pH（アルカリ性か酸性かを示す値）とは、人間と犬のpHの違い、シャンプーのメカニズム、界面活性剤（水（シャワー）と油（汚れ）を混ぜるために必要なもの）の種類、コンディショナーについてを学修する
5	肉球ケア	飼い主様に肉球ケアの必要性をアドバイスするためにも、肉球ケアの必要性、肉球の構造・役割、起こりやすいトラブル、ケアの方法、ケア製品についてを学修する
6	肉球ケア（実習） オーラルケア（歯みがき）	実習を行うことで施術のイメージを持つ。 行う前の足裏バリカンの必要性、製品の使用方法の確認、マッサージ、簡単なツボを体験し学修する。 トリミングのオプションとしてオーラルケアを行っているお店が増えているので、歯の構造、歯石の危険性、口腔内の異常、ケア製品の紹介、ゼオライト（ケア商品の一種）についてを学修する
7	泥パック（トリートメント）	ペットの被毛を美しく維持するためにも、トリートメントの種類について学修する。多くのお店でも取り入れている泥パックについて説明できるよう、泥の特徴、目的と効果、製品の使用方法と施術方法の説明、注意事項についてを学修する
8	ハーブパック（トリートメント）	お店での人気メニューのハーブパックについて説明できるよう、ハーブパックの特徴、目的と効果、使用方法と施術方法、メニューのバリエーションの紹介、注意事項についてを学修する
9	ハーブパック（トリートメント）実習	実習を行うことで施術のイメージを持つ。 ハーブパックの目的と効果、施術方法と注意事項の確認重要なことなので再度復習し実習を通して学修する。
10	アロマについて①	ペットにも癒しを与えたいと考える飼い主様のために、癒し効果のあるアロマの説明できるよう、犬に対するアロマの効果、使用する際の注意点、犬に危険なアロマの例について学修する
11	アロマについて② ドッグマッサージ	前回の続き。使用する際の注意事項、Pet Esthe®アロマセラピーシステムと製品について、施術方法について学修する。
12	ドッグマッサージ その他オプションについて	アロマにマッサージを取り入れるとより効果的なので、ドッグマッサージのやり方と簡単な例の説明も合わせて学修する 泥、ハーブ、アロマ以外にも様々なオプションについて調べ、学修する。
13	カラーリングについて①（ビビットカラー（おしゃれ染め））	トリミングオプションとしてカラーリングを希望する飼い主様のため、カラー剤の種類、人間用のカラー剤との違い、使用してはいけない理由、レストレーション（若返り）との違い、施術方法、注意事項について学修する。
14	カラーリングについて②（カラーレストレーション（白髪染め））	ペットも人と同じように毛色が退色するが、カラーリングによって見た目の若返りは可能。そのために、ビビットカラーとの違い、濃淡の入れ方、色の選択の仕方について学修する
15	POP作り	1年間学んだことを踏まえ、「飼い主様にご提案するため」というテーマでPOP作成する

<p>PowerPoint 実習で使用する教材</p>	<p>期末試験</p>	<p>100.0%</p>	
---------------------------------	-------------	---------------	--

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリマー看護基礎		イオンペットトリマーコース・ペットサロントリマーコース・メディカルトリマーコース・ペット総合コース/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	森 美奈子

授業の概要

トリマー・トレーナーに必要とされる基本的な動物の病気についての基礎知識(人獣共通感染症、外耳炎、結膜炎、甲状腺機能亢進症など)や薬用シャンプーの基礎知識(正しい薬浴の方法、薬剤の種類・効能など)を学修し習得する

授業終了時の到達目標

- ・基本的な動物の病気(外耳炎、白内障、歯周病など)を学ぶことでトリミング時や店舗でのお預かりの際に動物の体の異常に気付くことができる。
- ・病気や体の異常を発見した際に飼い主様に正しいアドバイスや対処を行うことができる。
- ・薬用シャンプーの効能・使用方法について正しい知識を修得することができる。

実務経験有無

実務経験内容

有

動物看護師として、動物病院で勤務(現在に至る)

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容や確認テストなどを使用して復習すること

回	テーマ	学修内容
1	動物看護学を学ぶ理由	動物看護学(なぜ動物看護を学ぶのか、など)の必要性を学修し理解する
2	全身/体調チェック	全身状態の確認、BCS、ホルモンに関する病気について理解する。体調チェック(TPR・CRTなど)エマージェンシーと応急処置の方法を学修し理解する
3	ズーノーシス	代表的な人獣共通感染症を学び寄生虫(外部寄生虫・内部寄生虫)の判別の方法を学修し理解する
4	ワクチンの基礎知識	ワクチンと予防できる感染症(狂犬病、パルボ、ジステンパーなど)について学びワクチンの必要性を理解する
5	皮膚の病気	皮膚の構造・働き、主な皮膚の病気(細菌性皮膚炎、疥癬症、皮膚糸状菌など)に対する対処法を理解する
6	耳の病気	耳の構造・働き、主な耳の病気(細菌性外耳炎、マラセチア性外耳炎など)を学び耳洗浄実技とイヤークリーナーの種類、トリミング時の正しい対処法など理解する
7	薬用シャンプーの基礎知識①	主な足先、膝、腰まわりの病気(指間炎、膝蓋骨脱臼、股関節形成不全など)を学びトリミング時の注意点について学修し理解する
8	薬用シャンプーの基礎知識②	薬用シャンプーの種類や成分、シャンプー療法と注意点を学修し理解する
9	高齢・幼齢犬の扱い方	トリミング時において高齢犬、幼齢犬を扱う際の注意点について学修し理解する
10	トラブル解決	ケース別(出血させてしまった、落としてしまったなど)対応や止血の方法を学び包帯法を学修し理解する

11	おしり・お腹まわりの病気	腹部・尾部周囲の構造、主なおしり、お腹まわりの病気（乳腺腫瘍、肛門周囲腺腫、会陰ヘルニアなど）を学びトリミング時の注意点を学修し理解する		
12	足先・膝・腰まわりの病気	主な足先、膝、腰まわりの病気（指間炎、膝蓋骨脱臼、股関節形成不全など）を学びトリミング時の注意点について学修し理解する		
13	眼の病気	眼の構造・働き、主な眼の病気（白内障、結膜炎、緑内障など）を学びトリミング時の注意点を学修し理解する		
14	鼻と口の病気	口鼻腔の構造・働き、主な鼻と口の病気（口鼻瘻管、歯周病、歯石など）とそれに対する注意点を学びデンタルケアの実技法・デンタルケア用品を学修し理解する		
15	ペットフードの基礎知識	ショップで売られているフードと動物病院で処方するフードの違いを理解する 近年、需要が高まっているプレミアムフードについて学修し理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
わかる犬の病気 EDUWARD Press		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
栄養学Ⅱ		サロントリマーコース・メディカルトリマーコース・イオンペットトリマーコース・ペット総合コース/2年	2024/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30時間	必須	藤岡 悠愛

授業の概要

動物栄養学の応用となる療法食、正常な食餌摂取ができない場合の給餌方法や管理などについて学び、ペットオーナーに対する食餌管理の指導概要を理解する。

授業終了時の到達目標

- ・心疾患や腎疾患、皮膚疾患など各臓器の疾患を学修し理解することで疾患別に必要な療法食について説明することができる
- ・疾患別で注意すべき栄養素の管理を類別できる

実務経験有無	実務経験内容
有	動物病院にて動物看護師として勤務。

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容や確認テストなどを使用して復習すること

回	テーマ	学修内容
1	強制給餌法	入院動物に対しておこなう経管による栄養管理の方法を学修し、理解する
2	非強制給餌法	入院動物に対しておこなう静脈による栄養管理の方法を学修し、理解する
3	疾患ごとの栄養管理（減量）①	犬猫において肥満と消瘦を学修しBCSの評価について理解する
4	疾患ごとの栄養管理（減量）②	犬猫において減量に必要な栄養管理や運動指導方法、療法食を学修し、理解する
5	疾患ごとの栄養管理（心臓）①	心臓の構造や働きを学び弁膜症や心筋症など犬猫に多い心疾患を学修し、理解する
6	疾患ごとの栄養管理（心臓）②	弁膜症や心筋症など犬猫に多い心疾患に対する栄養管理の方法や療法食を学修し、理解する
7	疾患ごとの栄養管理（皮膚）①	皮膚の構造や働きを学び膿皮症や疥癬など犬猫における感染性皮膚疾患を学修し、理解する
8	疾患ごとの栄養管理（皮膚）②	クッシング症候群やアレルギーなど犬猫における非感染性皮膚疾患を学び疾患に必要な栄養管理の方法と療法食を学修し、理解する
9	疾患ごとの栄養管理（腎臓）①	腎臓の構造や働きを学び慢性腎不全や急性腎不全など犬猫に多い腎疾患を学修し、理解する
10	疾患ごとの栄養管理（腎臓）②	慢性腎疾患に対する栄養管理の方法と療法食を学修し、理解する
11	疾患ごとの栄養管理（泌尿器）	尿石症や膀胱炎など犬猫に多い下部泌尿器疾患を学び下部尿路疾患に対する栄養管理の方法と療法食を学修し、理解する

1 2	疾患ごとの栄養管理（膵臓）①	膵臓の構造や働き、膵外分泌疾患を学び疾患に対する栄養管理の方法と療法食を学修し、理解する
1 3	疾患ごとの栄養管理（膵臓）②	内分泌疾患（糖尿病）を学び疾患に対する栄養管理の方法と療法食を学修し、理解する
1 4	疾患ごとの栄養管理（肝臓）①	肝臓の構造や働きを学び門脈体循環シャントや肝リピドーシス、肝炎や脳性肝炎など犬猫に多い肝疾患を学修し、理解する
1 5	疾患ごとの栄養管理（肝臓）②	肝疾患に対する栄養管理の方法と療法食を学修し、理解する

教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
NAVA ト	ペット栄養管理士ライセンステキスト	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャットマイスターⅡ		イオンペットトリマーコース・ペットサロントリマーコース・メディカルトリマーコース・ペット総合/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	長尾 麻紀子

授業の概要

爪切り、シャンプー、ドライイング、カットなどのグルーミング方法、注意点を学修する。
 ホテル、販売など猫の管理を行う際に必要となる扱い方や注意点を習得する。
 よく見かける疾患やズーノーシス、ワクチンの必要性を学修する。

授業終了時の到達目標

- ・グルーミングを行う際の犬との違いを知り、猫のグルーミング方法や注意点を習得する。
- ・生体販売、生体管理、ペットホテルでのお預かりなどを行う際に必要になる知識を習得する。
- ・ZCC キャットマイスターライセンス（アドバンス）取得。（任意）

実務経験有無	実務経験内容
有	ペットショップでトリマーとして勤務（現在に至る）

時間外に必要な学修

各項目の復習

回	テーマ	内容
1	グルーミング①	グルーミングの必要性を学修し理解する。猫をグルーミングする際の心構え犬との違いを学修する。
2	グルーミング②	グルーミングを行う際の注意点、お預かりの際のポイントを学修する。
3	グルーミング③	グルーミング方法を学修する。犬のグルーミングとの違いを理解する。
4	ペットショップにおいて生体販売①	生体の管理方法や子猫たちの社会化について学修する。
5	ペットショップにおいて生体販売②	生体を展示方法や展示の際の注意点、店舗内の管理について学修する。
6	ペットショップにおいて生体販売③	生体販売での接客方法や注意点、ペットに関わるという使命感を学修する。
7	ペットショップにおいてペットホテル①	ペットホテルの特徴や必要性、予約を取る際の注意点などを学修する。
8	ペットショップにおいてペットホテル②	猫をお預かりする際やお預かり中に必要なこと、注意点などについて学修する。
9	ペットショップにおいてペットホテル③	お返しの際に必要な事やお返し後のケージの消毒、ペットホテルの利用を検討しているお客様の対応方法などについて学修する。
10	病気の基礎知識① 知っておきたい、主な病気	呼吸器、消化器、皮膚などのよく見かける疾患の症状、治療法を学修する。
11	病気の基礎知識② 遺伝性疾患 ズーノーシス	遺伝性の疾患にかかりやすい猫種を疾患別に学修する。自人獣共通感染症とは何か知り、具体的な感染症を学修する。
12	病気の基礎知識③ ワクチンについて	ワクチンについてワクチンとは何か学修し、接種サイクル、ワクチンの種類、必要性を理解する。
13	遺伝と繁殖①	遺伝の基本を学修する。 繁殖の目的や注意点、発情期、交配について学修する。
14	遺伝と繁殖②	妊娠期間や妊娠中の管理方法、出産時の注意点、産後、新生子の管理方法を学修する。
15	総まとめ	1年間の確認テストを行い、理解を深める。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
Text Book of Cat Meister (ZCC) プリント	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング理論Ⅱ (M)		ペットサロントリマーコース・メディカルトリマーコース/2年	2024/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	萬澤 恵理

授業の概要

グルーミング、トリミングを行う際に、それぞれの犬種のスタンダード(その犬種の理想の体の構成)や理想の骨格構成をイラストや教科書を使用して学修し、その知識を実際のトリミングに反映出来る様に、イラストを描く授業やフェイクドッグを使った演習なども取り入れながら、それぞれの犬種のカット方法を学修させる。

授業終了時の到達目標

- ・プードルのケネル&ラムクリップの理想の形をイラストで描けるようになる。
- ・展開図を描くことで立体的なとらえ方が出来る様になり、実際のカットに反映出来るようになる。
- ・プードルのラムクリップ以外のカット方法を実際のカットの際に反映出来るようになる。
- ・プラッキング犬種(ミニチュア・シュナウザー、テリア種) スイニング犬種(アメリカン・コッカー・スパニエル)のカット方法を実際のカットに反映出来るようになる。

実務経験有無

実務経験内容

有

ペットショップでトリマーとして勤務(現在に至る)

時間外に必要な学修

テキストの該当箇所に事前に目を通し、予習を行う
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

回	テーマ	内容
1	プードルのスタンダード	1年次の復習もかねて、プードルのスタンダードを理解しカットで理想体型に近づける為の知識を習得。
2	ケネル&ラムクリップの犬体図 プードルの骨格構成	犬体図を描くことで、理想のバランスを習得し、骨格構成を描く事で、理想の骨格の角度、長さなどを習得する。
3	ケネル&ラムクリップの展開図 (側望、上望)	前回作成した犬体図を基に、上から見た(展開図)を作成し、ラムクリップのシルエットを習得していく。
4	ケネル&ラムクリップの展開図 (前望、後望)	前回の続きで、前望からの絵、後望からの絵を描き、いろいろな視点からの形を習得していく。
5	ケネル&ラムクリップのカット①	フェイクドッグを使用し、ケネル&ラムクリップのカット手順などを習得する。フットライン、後躯のカットを行う。
6	ケネル&ラムクリップのカット②	フェイクドッグを使用し、ケネル&ラムクリップのカット手順などを習得する。前駆のカットを行う。
7	ケネル&ラムクリップのカット③	フェイクドッグを使用し、ケネル&ラムクリップのカット手順などを習得する。頭部、尾、耳のカットを行う。
8	プードルのJKC公認ペットクリップ	JKC公認ペットクリップ(6種類)の大まかなカット方法と、特徴を学んでいく。
9	パジャマ・ダッチ・クリップ トリミング方法	パジャマ・ダッチ・クリップのクリッピング方法や、パーツ毎の作り方などを理解する。
10	ボレロ・マンハッタン・クリップ トリミング方法	ボレロ・マンハッタン・クリップのクリッピング方法やプレスレットの作り方などを理解する。
11	ファースト・コンチネンタル・クリップ トリミング方法	ファースト・コンチネンタル・クリップの後躯のクリッピング方法や、ロゼットの作り方、ブレスの作り方、他のカットとは違うボディの作り方などを理解する。
12	プードルのJKC公認ショークリップ	JKC公認ショークリップ(6種類)の大まかな特徴やトリミング方法などを理解する。
13	JKC C級ライセンス 筆記試験対策	問題集、過去問などを使用し、自習形式で自分で勉強を行い、試験対策とする。

回	テ ー マ	内 容		
14	JKC C級ライセンス 筆記試験対策 (小テスト形式)	前回自分達でまとめた学習内容をもとに、小テストを行い学生達の履修度を確認する。		
15	まとめ	今まで学習してきた事の復習もかねて、小テストを行い、期末試験の対策もあわせて行っていく。		
16	アタッチメントコームについて①	アタッチメントコームとは何か、メリットとデメリットを理解し、使い方を理解する。		
17	アタッチメントコームについて②	アタッチメントコームを使用した、ケネル&ラムクリップのカット技法を理解する。		
18	アタッチメントコームについて③	アタッチメントコームを使用した、ポメラニアン、シーズーのカット技法を理解する。		
19	NAVA1級筆記ライセンス対策①	過去問や問題集などを使い、学生達自信でまとめさせる。		
20	NAVA1級筆記ライセンス対策②	まとめた資料を基に小テストを行い、履修度を確認する。		
21	M・シュナウザーのトリミング方法①	M・シュナウザーのスタンダードの復習。被毛の特徴を把握し、基本的なブラッキングの方法、クリッピングの場所や入れ方、幅などを理解する。		
22	M・シュナウザーのトリミング方法②	M・シュナウザーのクリッピング方法の復習。ボディのカッティング方法を理解する。		
23	M・シュナウザーのトリミング方法③	M・シュナウザーのボディのカッティング方法の復習。顔のカッティング方法を理解する。		
24	アメリカン・コッカー・スパニエルのトリミング方法とスタンダード①	Amコッカーの沿革やスタンダードを理解し、その犬種の特徴、クリッピング方法を理解する。		
25	アメリカン・コッカー・スパニエルのトリミング方法とスタンダード②	スキ鋏の使い方、コームの入れ方、カットの方法などを理解する。		
26	アメリカン・コッカー・スパニエルのトリミング方法とスタンダード③	ペットカットなどのカットスタイルを理解する。		
27	プードルのアレンジカット①	1年間のカット知識を活かしアレンジカットを作成する。デザインがを作成し仕上がりのイメージを明確化する。		
28	プードルのアレンジカット②	デザイン画をもとにフェイクドッグを使用し、実際にカットを行い、イメージを形にできるようにする。		
29	プードルのアレンジカット③	自分がイメージした通りにカットができるように、カットを進め、完成させる。		
30	まとめ	今まで学習してきた事の復習もかねて、小テストを行い、期末試験の対策もあわせて行っていく。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル (ジャパンケネルクラブ) グルーミングの基礎 (インターズー) グルーミング教本アバンス編 (インターズー)		期末試験	100.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
グルーミング理論Ⅱ(S)		ペット総合コース/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	萬澤 恵理

授業の概要

グルーミング、トリミングを行う際に、それぞれの犬種のスタンダード(その犬種の理想の体の構成)や理想の骨格構成をイラストや教科書を使用して学修し、その知識を実際のトリミングに反映出来る様に、イラストを描く授業やフェイクドッグを使った演習なども取り入れながら、それぞれの犬種のカット方法を学修させる。

授業終了時の到達目標

- ・プードルのケネル&ラムクリップの理想の形をイラストで描けるようになる。
- ・展開図を描くことで立体的なとらえ方が出来る様になり、実際のカットに反映出来る様になる。
- ・プードルのラムクリップ以外のカット方法を実際のカットの際に反映出来る様になる。
- ・プラッキング犬種(ミニチュア・シュナウザー、テリア種) スイニング犬種(アメリカン・コッカー・スパニエル)のカット方法を実際のカットに反映出来る様になる。

実務経験有無 実務経験内容

有 ペットショップでトリマーとして勤務(現在に至る)

時間外に必要な学修

テキストの該当箇所に事前に目を通し、予習を行う
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること

回	テーマ	内容
1	プードルのスタンダード	1年次の復習もかねて、プードルのスタンダードを理解しカットで理想体型に近づける為の知識を習得。
2	ケネル&ラムクリップの犬体図 プードルの骨格構成	犬体図を描くことで、理想のバランスを習得し、骨格構成を描く事で、理想の骨格の角度、長さなどを習得する。
3	ケネル&ラムクリップの展開図 (側望、上望)	前回作成した犬体図を基に、上から見た(展開図)を作成し、ラムクリップのシルエットを習得していく。
4	ケネル&ラムクリップの展開図 (前望、後望)	前回の続きで、前望からの絵、後望からの絵を描き、いろいろな視点からの形を習得していく。
5	ケネル&ラムクリップのカット①	フェイクドッグを使用し、ケネル&ラムクリップのカット手順などを習得する。フットライン、後駆のカットを行う。
6	ケネル&ラムクリップのカット②	フェイクドッグを使用し、ケネル&ラムクリップのカット手順などを習得する。前駆のカットを行う。
7	ケネル&ラムクリップのカット③	フェイクドッグを使用し、ケネル&ラムクリップのカット手順などを習得する。頭部、尾、耳のカットを行う。
8	プードルのJKC公認ペットクリップ	JKC公認ペットクリップ(6種類)の大まかなカット方法と、特徴を学んでいく。
9	パジャマ・ダッチ・クリップ トリミング方法	パジャマ・ダッチ・クリップのクリッピング方法や、パーツ毎の作り方などを理解する。
10	ボレロ・マンハッタン・クリップ トリミング方法	ボレロ・マンハッタン・クリップのクリッピング方法やプレスレットの作り方などを理解する。
11	ファースト・コンチネンタル・クリップ トリミング方法	ファースト・コンチネンタル・クリップの後駆のクリッピング方法や、ロゼットの作り方、プレスの作り方、他のカットとは違うボディの作り方などを理解する。
12	プードルのJKC公認ショークリップ	JKC公認ショークリップ(6種類)の大まかな特徴やトリミング方法などを理解する。

回	テ ー マ	内 容
13	JKC C級ライセンス 筆記試験対策	問題集、過去問などを使用し、自習形式で自分で勉強を行い、試験対策とする。
14	JKC C級ライセンス 筆記試験対策 (小テスト形式)	前回自分達でまとめた学習内容をもとに、小テストを行い学生達の履修度を確認する。
15	まとめ	今まで学習してきた事の復習もかねて、小テストを行い、期末試験の対策もあわせて行っていく。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル (ジャパンケネルクラブ) グルーミングの基礎 (インターズー)	期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
イオンペット基礎学		イオンペットトリマーコース/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	菊田 大誠

授業の概要

イオングループ・イオンペット社員としてビジネスマナーやイオン行動規範の学習
店舗運営に必要な経費の計算について学習

授業終了時の到達目標

イオン宣言・イオン行動規範・イオンペット企業理念の暗唱
イオンペットでの社内ルールの理解
グルーミング店舗運営の仕組みの理解
予算や売上げの計算方法の理解

実務経験有無	実務経験内容
有	トリマーとして、3年間トリミングサロンに勤務

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートや課題等を使用して予習・復習を行うこと

回	テーマ	内容
1	イオン基本理念と考え方	イオン宣言・イオン行動規範・イオンペット企業理念について学習する。お客さま満足への考え方を学習する。
2	ビジネスマナーと個人情報	職場でのマナーと個人情報の取り扱いについて学習をする。
3	PDCA・法令遵守について学ぶ	仕事の進め方(PDCAサイクル)の理解と売り場に関わる法律を学習し、お客さま第一を考えた行動を行うための知識を身に付ける。
4	WAONIについて	電子マネーWAONとイオンペットWAONIについて学習する。
5	経営とはKPIについて	経営の基本の考え方を理解する。またKPIとは何か理解する。
6	小テスト	これまでの授業の復習と小テストを行い、理解度をチェックする。
7	イオンの数字について学ぶ①	原価と売価と値入率を学習する。原価、売価、値入率を例題、演習を行う。
8	イオンの数字について学ぶ②	粗利益高と粗利益率について学習する。また計算にあたり、ロス、リフターがでた際の計算方法を理解する。例題、演習を行う。
9	イオンの数字について学ぶ③	仕入・売上・在庫・売価変更・ロスについて学習する。演習問題をこなし、時間をかけて理解をする。
10	イオンの数字について学ぶ④	回転日数と回転率・棚卸とロスについて学習する。例題、演習をこなし理解する。
11	イオンの数字について学ぶ⑤	売上を上げるために、客数と客単価について学習する。演習問題を解き、計算方法を理解する。
12	イオンの数字について学ぶ⑥	買上げ率と人時生産性について学習する。またここまで学習した重要管理指数を理解する。
13	イオンの数字について学ぶ演習 I	イオンの数字についての内容の演習を行う。
14	イオンの数字について学ぶ演習 II	イオンの数字についての内容の演習を行う。
15	授業総復習	理念や法令順守・ビジネスマナーなど必要な内容の復習 また小テストや演習から正答率の低いものの復習を行う。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
パワーポイント資料 ペコタン(イオンペット株式会社) イオンの数字(イオンペット株式会社)	期末試験	100%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
イオンロールプレイング		イオンペットトリマーコース／2年	2024／後期	座学・演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	菊田 大誠

授業の概要

イオンペットでの電話予約、受付の対応方法の基本の学習
 接遇の理解と実践、考え方の習得
 事件事故再発防止策

授業終了時の到達目標

イオンペットの電話、受付、お返し対応ができるようになる。
 お客さまの要望、ペットの体を考慮したサービスの提案ができるようになる。
 事件・事故等緊急性を伴う状況での判断、再発防止策を考える事ができるようになる。

実務経験有無	実務経験内容
--------	--------

有

トリマーとして、3年間トリミングサロンに勤務

時間外に必要な学修

各講義で実施した内容をノートや課題などを使用して予習・復習すること

回	テーマ	内容
1	1年間で学ぶこと 接客と接遇	今年度の授業の流れを説明をし提案型サービスが出来るようになるという目標を共有する。 接客と接遇の違いを理解し、対応方法の学習を行う。
2	シニア犬・指定短頭種の受け入れ	イオンペットで定めているシニア犬、指定短頭種とは何か学習する。定めている理由、対処方法を学習する。
3	グルーミング電話予約（新規・既存）	グルーミング新規既存電話予約の取り方をフローチャートを作成し学習する。
4	グルーミング電話予約 演習	グルーミング電話予約を三人一組で交互に行う。新規、既存と2パターンとフロチャートを見ての接客と見ずに行う接客の2パターン計4パターン行う。
5	ホテル電話予約（新規・既存）	ホテル既存電話予約の取り方をフローチャートを作成し、学習する。
6	ホテル電話予約 演習	ホテル電話予約を三人一組で交互に行う。新規、既存と2パターンとフロチャートを見ての接客と見ずに行う接客の2パターン計4パターン行う。
7	お困りごと解決Ⅰ	よくあるお困りごとの基礎知識を理解する。 対応方法を学習する事で現在の状態によって提案方法を変える事が出来るように学習する。
8	お困りごと解決Ⅱ	よくあるお困りごとの基礎知識を理解する。 対応方法を学習する事で現在の状態によって提案方法を変える事が出来るように学習する。
9	提案型接客とオプションメニュー	提案型接客とは何か、なぜ求められているのか理解する。またより良いサービスを提案する為に自社で取り扱っているサービスを理解する。
10	グルーミング受付（新規・既存）	グルーミング新規既存受付の取り方をフローチャートを作成し、学習する。
11	グルーミングお返し	グルーミングお返しの方法をフローチャートを作成し学習する。
12	ホテル受付（既存、新規）お返し	ホテル既存、新規受付の取り方お返し方法をフローチャートを作成し、学習する。
13	小テスト 接客実践	理解度確認の為、小テストを行う。 振り返り後に接客実践を行う。
14	提案型接客について（実践Ⅰ）	三人一組に分かれお客さま役のみ情報を決め、スタッフ役は接客の中で状態を聞き出し、提案型接客を行えるように学習する。
15	提案型接客について（実践Ⅱ）	三人一組に分かれお客さま役のみ情報を決め、スタッフ役は接客の中で状態を聞き出し、提案型接客を行えるように学習する。

教科書・教材

評価基準

評価率

その他

グルーミングカード(イオンペット株式会社)

期末試験

100.0%

回

テーマ

内容

--

--

--

--

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護助手		メディカルトリマーコース・ペット総合コース/2年生	2024/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	斉田 千春
授業の概要				
動物病院勤務に必要な受付業務や診療補助業務、検査業務等の知識と技術を身に付ける				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・接遇を学ぶことで動物医療に携わる者として状況に応じた対応ができ、飼い主様と円滑なコミュニケーションが取れる ・基本的な保定法と身体検査を実施するための基礎知識を理解する ・臨床検査の方法を理解することで獣医師の補助を適切に行うことが出来る 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物病院で動物看護師として勤務		
時間外に必要な学修				
各講義で実施した内容をノートなどを使用して復習すること				
回	テーマ	内容		
1	動物診療助手を学ぶ意義 受付業務①接遇マナー	授業内容、学ぶ意義について、接遇・ホスピタリティとは何かを理解する		
2	受付業務② 電話対応、適切な話し方	電話の出かた、取り次ぎ、対応中の姿勢、適切な言葉遣いを理解する		
3	受付業務③ 証明書発行業務	証明書の必要性や発行の手順、飼い主様への説明の仕方を理解する		
4	診療補助業務① 保定	保定の重要性、原則と注意点、基本保定法4種類について理解する		
5	診療補助業務② 手術準備	動物外科看護における役割、一般的な手術器具の名称と特徴を理解する		
6	検査業務① 糞便検査	糞便検査の目的、採便法、直接法・浮遊法の検査の方法を学修し理解する		
7	検査業務② 尿検査	尿検査の目的、採尿法、検体の取り扱い、性状検査の方法について学ぶ		
8	検査業務③ 血液検査	血液検査の目的、採血部位、採血の準備、血液塗抹の作成の仕方を理解する		
9	検査業務④ レントゲン検査	レントゲン検査の目的、ポジショニングと放射線防護について理解する		
10	検査業務⑤ まとめ	各検査について学修したことをまとめ、理解を深める		
11	入院動物管理業務	入院動物の管理の仕方、観察・獣医師への報告のポイントを理解する		
12	飼育者指導業務① 飼養指導	犬・猫の適正飼養について、予防医療、住環境の観点で学修し、飼育者への指導法を理解する		
13	飼育者指導業務② 食事指導	犬・猫の食事管理について学修し、飼育者への指導法を理解する		
14	飼育者指導業務③ デンタルケア指導	犬・猫のデンタルケアについて学修し、飼育者への指導法を理解する		
15	総まとめ、ライセンス試験対策	学修内容の総まとめ、試験対策問題を実施し理解を深める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
動物看護実習テキスト(EDUWARDpress)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
生体管理演習		ペット総合コース/2年	2024/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	180回	360単位時間	必須	坪光 英男

授業の概要

生体の扱い方や個体に合わせた接し方を習得する
同時に動物愛護に関して、新しく変わった法律を理解して求められている事や適正な動き方に関して理解する
ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける

到達目標

犬舎にいる犬の名前、性格をすべて覚える
個体に合わせた食餌管理を行い、健康維持に努める

実務経験有無	実務経験内容
有	ペットショップ勤務ののちブリーディング施設にて勤務

時間外に必要な学修

ブリーディング教本を見直し、予習、復習する

回	テーマ	内容
1~4	お世話に関する知識	犬舎内にいる動物の配置を覚える また、お世話に必要な道具の場所を理化し、速やかに動けるように理解する
5~8	生体のお世話	雄犬犬舎の注意点、雌犬犬舎の注意点、産室に関する注意点を理解し、事故のないよう安全にお世話ができるよう知識を身に付ける
9~12	生体のお世話	雄犬犬舎の管理の仕方を身に付ける ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
13~16	生体のお世話	雌犬犬舎の管理の仕方を身に付ける ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
17~20	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
21~24	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
25~28	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
29~32	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
33~36	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
37~40	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
41~44	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
45~48	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
49~52	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
53~56	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける
57~60	生体のお世話	ショップにて生体管理を行ううえで必要な知識を身に付ける

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	出席率 評価表	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
愛護・ペット保険		ペット総合コース/2年	2024/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	長尾 麻紀子

授業の概要

生体販売、犬猫の譲渡会などで必要となります。ペット保険の必要性を学び、お客様への説明法などを理解しておく。また、生体販売・譲渡と保険の内容が変わってくるため、説明時に混同しないように理解を深める必要がある。すべて履修後にはペット保険の試験を受ける。同時に動物愛護に関して、新しく変わった法律を理解して求められている事や適正な譲渡会の動き方に関して理解する

到達目標

ペット保険の資格取得

実務経験有無	実務経験内容
有	ペットショップでトリマーとして勤務（現在に至る）

時間外に必要な学修

教本の予習、復習をする

回	テーマ	内容
1	ペット保険①	ペット保険とは 害保険の中のペット保険の立ち位置 損
2	ペット保険②	生体販売でのペット保険と譲渡会でのペット保険の違いを理解する
3	動物愛護①	離乳前の子猫のお世話について ミルクボランティアの実施 中野様
4	動物愛護②	石川県動物愛護管理の施策 中野様
5	ペット保険③	ペット保険対策授業
6	動物愛護③	譲渡する際に必要となる説明事項を理解する
7	ペット保険④	ペット保険対策授業
8	動物愛護④	動物愛護に関するセミナーの受講を通して他県での愛護活動を理解する
9	ペット保険⑤	ペット保険対策授業
10	動物愛護⑤	動物愛護に関するセミナーの受講を通して他内での愛護活動を理解する
11	ペット保険⑥	ペット保険対策授業
12	動物愛護⑥	譲渡会に参加し、習得した知識と照らし合わせ、理解度を確認する
13	ペット保険⑦	ペット保険対策授業

14	動物愛護⑦	動物愛護に関するセミナーの受講を通して愛護活動を理解する		
15	動物愛護⑧	動物愛護に関するセミナーの受講を通して愛護活動を理解する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
損害保険教本		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグブリーダー		ペット総合コース/2年	2024/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	長尾 麻紀子
授業の概要				
日本では、犬は約705頭、猫は約884頭が飼育されています。愛玩動物・伴侶動物へと変化し、共生する時代となっています。人にとって良きパートナーとなる犬・猫の声に耳を傾け、新しい命を紡ぐ「繁殖」は動物の体を知り、繁殖のメカニズムをしっかりと理解し、犬・猫に優しいブリーディングを学ぶ必要があります。				
到達目標				
ドッグブリーダーライセンス資格取得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ペットショップでトリマーとして勤務（現在に至る）		
時間外に必要な学修				
ドッグブリーダー教本の予習、復習				
回	テーマ	学修内容		
1	ブリーディングについて	各々が思っているブリーディングに関することをレポート用紙にまとめる		
2	生殖器の構造と機能（雌）	前半は認定制度について概要をお伝えし、後半は雌の生殖器の構造と働きを解説する。「排卵とは何か」「受精はどこで起こっているのか」などブリーディングの基礎となる部分を学ぶ		
3	生殖器の構造と機能 繁殖生理学（雄）	メス犬の引き続き、オス犬の生殖器の構造と働きを紹介している。また、生巣下降や性成熟といった、汚水の野繁殖生理学を学ぶ		
4	雌犬の繁殖生理学	動物種によって発情に季節や周期的変化は異なる。雌犬の発情は1年に1～2回と頻度が少ないが、発情兆候は明瞭なため分かりやすい。ここでは、発情の周期性と、それに伴う身体的変化及び卵巣の変化を学ぶ		
5	生殖機能および発情周期のホルモン支配	生殖機能の働きは、ホルモンによって調節される。その中軸を担うのは「視床下部-下垂体-性腺軸」というホルモンの流れである。ここでは、生殖に関するホルモンを紹介し、それらが発情周期に伴いどのように変化するかを学ぶ		
6	排卵について	交配適期を逃さないためには、排卵日を見極めることは重要。犬は発情期が長く、排卵後も発情が続くため難しい。どのように排卵日を特定するのかBioArtで行っている実際の流れを参考にしながら学ぶ		
7	膣スメアー検査	犬の発情期に伴う身体的特徴のひとつに、膣スメアーの班化がある。膣スメアーは簡単に発情周期のおおよその時期を予測できるため、身につける検査技術のひとつ。検査法や判定法を学ぶ。		
8	犬の受胎可能な交配期間は何故長いのか？	他の動物と比較して、犬は受胎可能な期間が長い動物。犬特有の卵子および精子の特徴が関係している。その特徴を把握することで、交配適期を理解することになる。		
9	犬の交配の特徴から着床まで	犬の交配では補助が必要な場合もある。確実に交尾の流れを理解することが必須。犬の自然交配と補助の方法について理解し、後輩の胚の着床や胎児の発育について学ぶ		
10	犬の妊娠期間は何日	何故妊娠期間にばらつきがあるのか？データをもとに解説をする。時期や目的によって診断方法は異なるため、正しい選択の仕方を学ぶ		
11	犬の分娩、よび助産	出産に立ち会う際、場合によっては介助をしたり、帝王切開に移行したりという判断が求められる。分娩の兆候、分娩の流れを正しく理解することが必要。難産や帝王切開の基準について学ぶ		
		犬の赴任の原因のひとつに、オス犬の精液性状があげられる。犬の精液採取は特別な装置を必要とせず、自身で行うこ		

1 2	精液採取と診療部	<p>る。犬の精液採取は特別な装置を必要とせず、自身で行うことが可能な検査でもあるため、習得したい技術となる。精液採取および精液性状検査について学ぶ</p>		
1 3	人工授精	<p>犬の不妊の原因として、雄犬の精液性状があげられる。犬の精液採取は特別な装置を必要とせず、また、自身で行うことが可能な検査もある。ここでは、精液採取及び精液性状検査について学ぶ</p>		
1 4	妊娠分娩に関する主な疾患 犬の半陰陽、小野奈生殖疾患	<p>胎児奇形や流産など出産に関連する以上や、雌犬、雄犬に生殖器について学ぶ</p>		
1 5	犬ブルセラ病を理解する	<p>犬のブリーディングで最も気を付けなければいけない病気は、犬ブルセラ病。一度発症すると感染が広がり制御することは非常に難しい。ここでは犬ブルセラ病について学びます</p>		
1 6	遺伝子および遺伝子病の基礎	<p>遺伝子病は繁殖の段階で防ぐことができる病気です。遺伝および遺伝子病の基礎について理解し、遺伝子病を産苦言していくうえで重要かつ基本的な知識を身に着けるよう学んでいきます。</p>		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
ドッグブリーダー教本 DVD		期末試験	100.0%	

科目名		学科／学年	年度／時期	授業形態
公衆衛生学ハサップ		ペット総合コース／2年	2024／後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	八木 幸隆
授業の概要				
ヒトの「健康」の意味について理解を深めるとともに、人々の健康に必須と考えられる公衆衛生や食品衛生（ハサップを含む。）及び環境衛生活動等の各種対策と活動について学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
公衆衛生、食品衛生関連の主要な用語の意味を理解するとともに、その概略について説明することが出来ること				
実務経験有無		実務経験内容		
有		・ 獣医師として農林省動物検疫所に勤務5年 ・ 獣医師として石川県厚生部や保健所に勤務32年		
時間外に必要な学修				
授業後に内容の復習をする				
回	テーマ	内容		
1	公衆衛生学を学ぶ意義とその範囲について	自身の「幸せ」と「健康」について考察するとともに、健康の大切さを理解し、戦後の公衆衛生対策の歩みやその範囲を学修する		
2	公衆衛生とは①	公衆衛生の定義に加え、健康と憲法第25条の関係を理解し、健康を守るための公衆衛生の領域やその諸活動について学修する		
3	公衆衛生とは②	WHOの健康概念と定義を考察し、健康に影響する要因や疾病予防ための概念を理解し、ヘルスプロモーションやWHOの諸活動について学ぶ		
4	公衆衛生とは③	世界と日本における公衆衛生の歴史について学修する		
5	健康と環境、疫学的方法①	人の健康に影響する要因や危険度を理解し、集団検診の意義や簡単な疫学とその手法について学修する		
6	健康の指標①	人口ピラミッドや国勢調査、人口動態統計等の主要な各種健康指標の意味や見方について理解する		
7	健康の指標②	健康寿命の意味とそれに関与する国民の有病率、受療行動調査等、実際の各種調査の結果を解説することでその現状や実態を知る		
8	感染症とその予防①	感染症の成立要因と伝播様式に加え、パンデミック等の流行様式を理解し、併せて感染症法の分類について学修する		
9	感染症とその予防②	近年の新興感染症・再興感染症などの動向等から1998年に新「感染症法」制定に至った状況や感染症の予防対策について学修する		
10	感染症とその予防③	主要な感染症について、そ特徴等について学修し、理解する		
11	食品保健と栄養①	食品安全のため、「食品衛生法」・「食品安全基本法」等に基づくハサップなどの諸活動や食中毒防止活動について理解し、主要な食中毒の特色を学ぶ。		
12	食品保健と栄養②	健康の基礎となる栄養問題等について国民健康栄養基礎調査や食生活指針を通してを理解し、食育の意義についても学修する		
13	生活環境の保全①	地球の環境問題及び大気・水質等の環境保全状況等の必要性について理解する		
14	生活環境の保全②	生活環境の安全やごみ・廃棄物処理全般について学修し、また特に医療機関から排出される感染性の特別管理廃棄物の適正処理について学ぶ		
15	医療・介護保障制度	我が国の医療制度（医療保障・医療保険）や介護保険制度のしくみについて、その概要を学修する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
清水忠彦・佐藤拓代 編集 「わかりやすい公衆衛生学」（第4版） 2022年2月10日7刷ヌーヴェルヒロカワ		期末試験	100%	講義中、質問することで理解度を確認する。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけ学Ⅱ		ペット総合コース/2年	2024/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60時間	必須	村牧 瑞希

授業の概要

犬のしつけの重要性の理解とともに実際に犬をトレーニングする技術を身につけるための理論を理解し、トレーニングのプランニング、顧客への接し方を含むアドバイス方法などを理解し、いぬを扱い、適正な飼養をアドバイスできる人材を育成すること、問題となる行動はどのように起こるか、どのような対処をすれば良いのかを理論的に説明できることを学習し、顧客へのアドバイスができることを理解し習得する。

授業終了時の到達目標

- ・行動学の理解として各専門用語の意味と活用方法を理解する
- ・犬の生得的な行動と習得的な行動の理解する
- ・犬の学習プロセスを系統的に理解する
- ・犬との生活の中で起こりうる問題点を探り、その根源を理解する
- ・しつけを実際に行う際のスモールステップの手順を理解する
- ・しつけ教室を開く際のカテゴリーとプログラム作成の手順を理解する

実務経験有無 実務経験内容

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

テキストの読み込み、講義でのノートの復習

回	テーマ	内容
1	いぬのトレーニング	トレーニングのタイプ（処罰法、陽性強化法、クロスオーバー）について理解を進め、古典的条件づけ、オペラント条件づけをどのようにいぬのトレーニングに応用活用していくことができるかを学修する。
2	オペラント条件づけ	オペラント条件づけの基本的思考と理解を進めるために、スキナーの行動分類と動物の行動を結びつけていく考え方についての理解し、その思考を身につけていくために学修する。
3	トレーニングの重要な概念	三項随伴性によるいぬの行動とトレーニングへの活用を理論的に理解すると共に、先行事項となる行動のきっかけを動機づけしていく際の注意点等を学修する。
4	トレーニングの重要な概念	刺激のパッケージ、周囲からの合図、隠蔽、刺激制御、般化、状況学習、偶発的な行動について理解をすすめて、いぬを扱う際の学習と行動がどのように発現するのかを理解し、学修する。
5	こいぬのトレーニング1	こいぬのトレーニングとはどういったものなのか、飼い主がこいぬから飼い始めて生活を送る上で抑えておくべき項目を挙げていき学修する。
6	こいぬのトレーニング2	こいぬのトレーニングや社会化を目的にしたしつけ教室のいろいろなパターンを挙げていき、その長所や短所考察しながら教室の開催方法を学修する。
7	こいぬのトレーニング3	こいぬのためのしつけ教室の中での、習得内容や目標のポイントをどのように考えて実践するべきなのかということを学修する。
8	成犬のトレーニング1	こいぬと成犬の違いと長所、短所を理論的に理解しながら、成犬の成長段階別に取り組み方が違うことを論理的に理解し、実践する方法を学修する。
9	成犬のトレーニング2	成犬が抱える問題点を事例を挙げて考察し、その行動の発現の原因と対処の方法を学修する。
10	成犬のトレーニング3	成犬のためのトレーニングのいろいろな方法を事例を挙げて考察し、実践するための基準、学習の進度、行動の定着などを考察しながら学修を進める。
11	犬のしつけ教室1	実際の犬のしつけ教室の様々な形態を紹介しながら、飼い主と犬との関係をどのように構築していくべきなのかを考察し学修する。
12	犬のしつけ教室2	犬のしつけ教室の中で、飼い主にどのように教えていくべきなのか、飼い主の理解度と扱い方などを考察しながら、教室運営の方法を学修する。

回	テ ー マ	内 容
13	犬のしつけ教室3	犬のしつけ教室のプログラム構築の方法とプランを立ててスモールステップによる習熟度を考察しながら、運営方法を学修する。
14	犬の問題行動について	犬が起こす問題点と問題行動についての考え方を考察し、違いとその方法を学修する。
15	犬の問題行動のカテゴリー1	犬との生活の中で起こりうる問題行動の種類をカテゴリーに分けて分類することを学修する。

回	テーマ	内 容		
16	犬の問題行動のカテゴリー2	問題行動をカテゴリーで分けた際に、その問題はどこから起こるのかという発現の原因を考察し学修する。		
17	問題行動の種類と犬との関係1	犬が起こす問題行動（排泄行動）と犬種特有の行動との関係を考察しながら、その問題行動の改善策を学修する。		
18	問題行動の種類と犬との関係2	犬が起こす問題行動（支配的、攻撃的）と犬種特有の行動との関係を考察しながら、その問題行動の改善策を学修する。		
19	問題行動の種類と犬との関係3	犬が起こす問題行動（飼い主との関係、散歩）と犬種特有の行動との関係を考察しながら、その問題行動の改善策を学修する。		
20	咬みつく犬について	犬は哺乳類の中でも肉食動物であることと咬む行動との関係について学修する。		
21	嫌悪刺激について	犬のトレーニングにおける嫌悪刺激についての考え方とその基準について学修する。		
22	犬という動物を見直す1	犬の起源とその進化の過程についてオオカミとの比較、人との比較、本能的行動を見直し、行動全体について学修する。		
23	犬という動物を見直す2	犬の学習本能とそのメカニズムについて学修する。		
24	人とのコミュニケーションスキル1	トレーナー、インストラクターの資質と社会的影響について学修する。		
25	人とのコミュニケーションスキル2	言葉によるコミュニケーションの本質と伝え方、受け方の違いを科学的に理解し学修する。		
26	人とのコミュニケーションスキル3	言葉以外のコミュニケーション方法の考え方、伝え方、受け方を論理的に理解し学修する。		
27	ケアと管理1	犬の健康な状態を維持していくためのケアの方法と日々の管理の方法を学修する。		
28	ケアと管理2	四季を通してケアの方法と季節別の管理の方法を学修する。		
29	犬のトレーニング関連トピック	様々な動物愛護活動と関連法規との関係、実際に愛護活動の実例を交えながら理解を進め学修する。		
30	犬のトレーニング関連トピック	様々な犬のしつけに関するサービスとしつけに関連するグッズについて学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
犬のしつけ学インターズー		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トレーニング実習		ペット総合コース/2年	2024/通年	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	122回	244単位時間	必須	村牧 瑞希

授業の概要

犬のしつけの重要性の理解とともに実際に犬をトレーニングする技術を身につけるための理論を理解し、トレーニングのプランニング、顧客への接し方を含むアドバイス方法などを理解し、いぬを扱い、適正な飼養をアドバイスできる人材を育成すること、問題となる行動はどのように起こるか、どのような対処をすれば良いのかを理論的に説明できることを学習し、顧客へのアドバイスができることを理解し習得する。

到達目標

- ・動物行動学、学習理論、行動特性を理解しながら、犬のトレーニングの進め方を学修する
- ・犬の学習のプロセスを、実際の犬をトレーニングすることで学修する
- ・犬の学習のプロセスを系統的に理解する
- ・項目立ててセクションごとに実施する効果と影響を学修する
- ・しつけを実際に行う際のスモールステップの手順を理解する
- ・しつけトレーニングの際のカテゴリーとプログラム作成の手順を理解する
- ・子犬と若犬、成犬のしつけの違いを学ぶ
- ・子犬のしつけ教室の方法を理解する
- ・若犬のしつけ教室の方法を理解する
- ・成犬のしつけ教室の方法を理解する
- ・全般的なしつけ教室の運営形態を理解する
- ・しつけ教室を開く際のカテゴリーとプログラム作成の手順を理解する

実務経験有無	実務経験内容
有	①犬の訓練施設を開業 ②動物病院にてしつけ教室を開催 ③ふくい動物愛護管理支援センターに従事

時間外に必要な学修

テキストの読み込み、講義でのノートの復習

回	テーマ	学修内容
1	犬のトレーニングを始める前の準備	犬の行動を理解しているか、学習の方法を理解しているかを見直し、犬をトレーニングするという自覚と責任について学修する。
2	基本トレーニングヘッドスタート	基本トレーニングをプログラムし実施する際の注意点と、実際に犬の行動について考察し、扱い方を学修する。
3	犬のしつけ教室と訓練所の違いを知る	基本的な犬のしつけ教室と犬の訓練所との違いを理解し、それぞれの利点、欠点を学修する。
4	犬のしつけ教室を始めるための準備	犬のしつけ教室は何のためにあるのか、どのようにプランを立てていくのかを学修する。
5	基本トレーニングセクション1-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
6	基本トレーニングセクション1-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
7	犬のしつけ教室をプログラムする	子犬のためのトレーニングのいろいろな方法を事例を挙げて考察し、実践するための基準、学習の進度、行動の定着などを考えながらプログラムの学修を進める。
8	犬のしつけ教室・子犬の教室1-1	犬の月齢に合わせてプログラムを組んでいく際に、始めて教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学修する。

9	基本トレーニングセッション2-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
10	基本トレーニングセッション2-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
11	犬のしつけ教室・子犬の教室1-2	犬の月齢に合わせてプログラムを組んでいく際に、2回目として教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ
12	犬のしつけ教室・子犬の教室1-3	犬の月齢に合わせてプログラムを組んでいく際に、3回目として教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ
13	基本トレーニングセッション3-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
14	基本トレーニングセッション3-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
15	犬のしつけ教室・子犬の教室1-4	犬の月齢に合わせてプログラムを組んでいく際に、4回目として教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。
16	犬のしつけ教室・子犬の教室1（ロールプレイング）	こいぬと成犬の違いと長所、短所を理論的に理解しながら、成犬の成長段階別に取り組み方が違うことを論理的に理解し、実践する方法を学修する。
17	基本トレーニングセッション4-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
18	基本トレーニングセッション4-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
19	犬のしつけ教室・子犬の教室1（ロールプレイング）の振り返り	学生が実施したしつけ教室を振り返り、長所、短所、利点、欠点などを理解し学修する
20	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室をプログラムする	成犬のためのトレーニングのいろいろな方法を事例を挙げて考察し、実践するための基準、学習の進度、行動の定着などを考えながらプログラムの学修を進める。
21	基本トレーニングセッション5-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
22	基本トレーニングセッション5-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
23	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1-1	若犬の月齢や行動に合わせてプログラムを組んでいく際に、始めて教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。
24	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1-2	若犬の月齢や行動に合わせてプログラムを組んでいく際に、2回目に教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。
25	基本トレーニングセッション1～5組み合わせレッスン1	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
26	基本トレーニングセッション1～5組み合わせレッスン2	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
27	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1-3	若犬の月齢や行動に合わせてプログラムを組んでいく際に、3回目に教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。
28	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1-4	若犬の月齢や行動に合わせてプログラムを組んでいく際に、4回目に教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。

29	基本トレーニングセッション1~5組み合わせレッスン3	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
30	犬のコントロールチェックテスト1	犬の基本トレーニングの進捗状況を確認するためのテスト。
31	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1-5	若犬の月齢や行動に合わせてプログラムを組んでいく際に、5回目に教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。
32	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1-6	若犬の月齢や行動に合わせてプログラムを組んでいく際に、6回目に教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。
33	犬のコントロールチェックテスト2	犬の基本トレーニングの進捗状況を確認するためのテスト。
34	基本トレーニングセッション6概要	基本トレーニングの進行状況を考えながら、次のステップをどのようにプログラムするかを学修する。
35	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1-7	若犬の月齢や行動に合わせてプログラムを組んでいく際に、7回目に教室に通う場合の、必要な知識と飼い主に教えていく注意点を学ぶ。
36	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1（ロールプレイング）	学生自身がプログラムした犬のしつけ教室を実施する。
37	基本トレーニングセッション6-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
38	基本トレーニングセッション6-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
39	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1（ロールプレイング2）	学生自身がプログラムした犬のしつけ教室を実施する
40	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1（ロールプレイング）の振り返り	学生が実施したしつけ教室を振り返り、長所、短所、利点、欠点などを理解し学修する
41	基本トレーニングセッション7-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
42	基本トレーニングセッション7-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、レッスンを通して実践しながら学修する。
43	犬のしつけ教室・成犬の教室1-1	成犬のためのしつけ教室のプログラム及びプランの構築の仕方を学ぶ。
44	犬のしつけ教室・成犬の教室1-2	成犬のしつけ教室を実施して、その内容を学修する。
45	基本トレーニングセッション6~7組み合わせレッスン1	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
46	基本トレーニングセッション6~7組み合わせレッスン2	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
47	犬のしつけ教室・成犬の教室1-3	成犬のしつけ教室を実施して、その内容を学修する。
48	犬のしつけ教室・成犬の教室1-4	成犬のしつけ教室を実施して、その内容を学修する。
49	基本トレーニングセッション8-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する
50	基本トレーニングセッション8-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する
51	犬のしつけ教室・成犬の教室1-5	成犬のしつけ教室を実施して、その内容を学修する。
52	犬のしつけ教室・成犬の教室1-6	成犬のしつけ教室を実施して、その内容を学修する。

53	基本トレーニングセッション9-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する
54	基本トレーニングセッション9-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する
55	犬のしつけ教室・成犬の教室1-7	成犬のしつけ教室を実施して、その内容を学修する。
56	犬のしつけ教室・成犬の教室1-8	成犬のしつけ教室を実施して、その内容を学修する。
57	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン1	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
58	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン2	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
59	犬のしつけ教室・成犬の教室1（ロールプレイング）	学生自身がプログラムした犬のしつけ教室を実施する。
60	犬のしつけ教室・成犬の教室1（ロールプレイング2）	学生自身がプログラムした犬のしつけ教室を実施する
61	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン3	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
62	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン4	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
63	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1（ロールプレイング）の振り返り1	学生が実施したしつけ教室を振り返り、長所、短所、利点、欠点などを理解し学修する
64	犬のしつけ教室・成犬（若犬）の教室1（ロールプレイング）の振り返り2	学生が実施したしつけ教室を振り返り、長所、短所、利点、欠点などを理解し学修する
65	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン5	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
66	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン6	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
67	犬のしつけ教室総合プログラム	犬のしつけ教室における様々なトピックを考えてレッスンのプログラムを学修する。
68	犬のしつけ教室総合1-1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する。
69	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン7	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
70	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスン8	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
71	犬のしつけ教室総合1-2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する。
72	犬のしつけ教室総合1-3	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する。
73	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスンの振り返り1	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
74	基本トレーニングセッション8~9組み合わせレッスンの振り返り2	これまでの犬のコントロールの状況を考察しながら、トレーニングの進め方を振り返りながら、犬に合った方法を学修する。
75	犬のしつけ教室総合1-4	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する。

76	犬のしつけ教室総合1-5	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する。
77	基本トレーニングの振り返り1	基本トレーニングを生活に活かしたり、犬の学習や行動にどのように影響するかをディスカッションして学修する。
78	基本トレーニングの振り返り2	基本トレーニングを生活に活かしたり、犬の学習や行動にどのように影響するかをディスカッションして学修する。
79	犬のしつけ教室総合1-6	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する。
80	犬のしつけ教室総合1-7	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する。
81	基本トレーニングの振り返り3	基本トレーニングを生活に活かしたり、犬の学習や行動にどのように影響するかをディスカッションして学修する。
82	基本トレーニングの振り返り4	基本トレーニングを生活に活かしたり、犬の学習や行動にどのように影響するかをディスカッションして学修する。
83	犬のしつけ教室総合の振り返り1	しつけ教室を実際にプログラムすること、伝えることの注意点をディスカッションして学修する。
84	犬のしつけ教室総合の振り返り2	しつけ教室を実際にプログラムすること、伝えることの注意点をディスカッションして学修する。
85	基本トレーニング・トリックのプログラム	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをディスカッションしながら学修する。
86	基本トレーニング・トリックレッスン1	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
87	基本トレーニング・トリックレッスン2	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
88	基本トレーニング・トリックレッスン3	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
89	基本トレーニング・トリックレッスン4	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
90	基本トレーニング・トリックレッスン5	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
91	基本トレーニング・トリックレッスン6	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
92	基本トレーニング・トリックレッスン7	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
93	基本トレーニング・トリックレッスン8	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
94	基本トレーニング・トリックレッスン9	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
95	基本トレーニング・トリックレッスン10	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
96	基本トレーニング・トリックレッスン11	犬のトレーニングを洗練させるためのプログラムをレッスンを通して実践し学修する。
97	基本トレーニング・問題点の改善1	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する

98	基本トレーニング・問題点の改善2	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する
99	犬のしつけ教室・問題点の改善レッスン1	飼い主さんに指導やアドバイスをするポイントをレッスンの過程から学修する。
100	犬のしつけ教室・問題点の改善レッスン2	飼い主さんに指導やアドバイスをするポイントをレッスンの過程から学修する。
101	基本トレーニング・問題点の改善3	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する
102	基本トレーニング・問題点の改善4	犬の教育は段階を追って進めていくことを、実践しながら学修する
103	犬のしつけ教室・問題点の改善レッスン3	飼い主さんに指導やアドバイスをするポイントをレッスンの過程から学修する。
104	犬のしつけ教室・問題点の改善レッスン4	飼い主さんに指導やアドバイスをするポイントをレッスンの過程から学修する。
105	犬のしつけ教室1	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
106	犬のしつけ教室2	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
107	犬のしつけ教室3	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
108	犬のしつけ教室4	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
109	犬のしつけ教室5	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
110	犬のしつけ教室6	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
111	犬のしつけ教室7	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
112	犬のしつけ教室8	犬のしつけ教室を通してプログラムの重要性と伝え方を学修する。
113	基本トレーニング総合レッスン1	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。
114	基本トレーニング総合レッスン2	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。
115	基本トレーニング総合レッスン3	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。
116	基本トレーニング総合レッスン4	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。
117	基本トレーニング総合レッスン5	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。
118	基本トレーニング総合レッスン6	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。
119	基本トレーニング総合レッスン7	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。

120 ~122	基本トレーニング総合レッスン8	前期後期で犬のトレーニングを振り返り、犬への効果と影響をレッスンを通して学修する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
犬のしつけ学インターズー		期末試験(実技)	100.0%	